

EMS ニュースの第 8 号をお届けします。

昨年発売しました「SAM ジャンクショナルターニケット = 鼠蹊部や腋下部での止血システム」が米国において、JEMS (Jounal Emergency Medical Service) で、下記の賞を受賞しましたので、お知らせします。

実際に戦場で使用されて、その報告が上がってきています。下記へ使用報告の抄訳も記載しました。

SAM ジャンクショナルターニケットのカタログや資料は、電話・FAX かメールでご依頼ください。



## SAM ジャンクショナルターニケット 優秀製品賞を受賞

(サムスリングはすでに受賞しています。)



サムジャンクショナルターニケット (SAMJT102) が 2014 年度 JEMS ホットプロダクト大賞 (JEMS Hot Product Award) を受賞したので報告します。SAM JT は 2013 年度に於いても EMS 世界のトップイノベーション賞 (EMS World Magazine' s 2013 Top Innovation Awards) を受賞しておりますので併せて報告します。なお、サムスリングは既に 2010 年度に 2009 Top Innovation Awards に輝いております。また、SAMJT は TCCC 推奨の軍用ジャンクショナルターニケットと同時に C-TECC 推奨の民間用ジャンクショナルターニケットです。

(TCCC:Tactical Combat Casualty Care= 戦術的戦闘外傷ケア  
CTECC:Committee for Tactical Emergency Casualty Care= 戦術的救急外傷ケア)

●JEMS Hot Product Award :

JEMS (Jounal Emergency Medical Service) の主催で、受賞するには革新的であるだけでなく実用性が必要です。選定員は、候補製品の独創性・機能性・使いやすさ・EMS の備品として必要かどうかを総合的に評価します。

●EMS World Magazine' s 2013 Top Innovation Award:

EMS World は、EMS マガジン・ニュースレターの発行・EMS 従事者のトレーニングなどを行っています。また EMS World Expo を主催しています。

○SAM ジャンクショナルターニケット開発の背景:

Junctional Hemorrhage(四肢の接合部付近の出血)は最近の研究で戦闘における Preventable Deaths(防ぎ得た死)の死因の約 20% に及ぶことがわかりました。Junctional Hemorrhage を止血できる製品の開発が急がれました。(Death on the battlefield(2001-2011): Implications for the future of combat casualty care より)

○SAM ジャンクショナルターニケットは、サムスリングの救急現場に対処する優れた有用性を伸長し、対応処置範囲を拡大しました。さらに使用性を改良した次世代の EMS 専用製品です。

○SAM ジャンクショナルターニケットの開発目的は従来のターニケットでは止血の難しい:-

- (1) 鼠蹊部での止血
- (2) 腋窩部での止血
- (3) さらに骨盤骨折に伴う出血の止血と整復固定

○SAM ジャンクショナルターニケット (SAMJT) の実践使用例:

負傷者はアフガニスタン陸軍兵士 (20 歳)。銃創は太腿中心線のやや側方、鼠蹊部の左 5-6cm にあった。その場で射入口を簡単な止血帯と包帯で緊急処置され後方に搬送された。

後方の救護施設へ到着し、創傷評価のために止血帯が取り除いたが、そのことで激しい動脈出血が起こった。創傷にガーゼを詰めて圧迫止血が行われた。さらに、創傷が鼠蹊部付近であったため、射入口に近い鼠蹊部左側に SAMJT の適用を決定した。SAMJT の使用により動脈からの出血を最小にした。SAMJT による止血処置はその場に居合わせた人員 (彼らは昨年 SJT の導入時にトレーニングを受けていた。) により実施された。その際のアセスメントでは骨盤骨折 / 大腿部骨折等の有無を判定することは難しかったが、SAMJT の装着後には明らかに骨盤は整復固定され臀部も固定されていた。

SJT の装着に加えて、右脚をサムスプリントで固定し負傷者の動きを抑制した。これは負傷者に使用した IO(Intraosseous = 骨内) 注入システムを保護し安定させるためであった。

○世界の多くの救急サービスで使用されているサムスリングは 2014 年に納入累計数が世界で 250,000 セットを超えました。日本に於いてもサムスプリントと共に救命救急センターや救急隊の外傷対応出動時の必需品となってきています。(註: 2014 年 4 月に救急救命士による救急処置範囲の拡大改正が行われた)

### ☆ 製品紹介 SAM ジャンクショナルターニケット

SJT102

#### 接合部 (鼠蹊部・腋下部) での止血 + 骨盤の整復固定

今まで止血できなかった状況で止血できる

例えば、災害や事故で四肢が切断されてしまった場合、四肢の根元付近での出血の場合、通常の止血帯が使えない場合など

鼠蹊部での止血

腋窩部での止血



同時に骨盤を固定



ポンプで膨ませ血管を圧迫

あとがき

今年、最後の号になります。新しい試みとして始めた、アメリカの救急サービスの情報を中心にお届けしたニュースレターですが、いかがでしたでしょうか。興味を持って読んでいただけたなら幸いです。少し年末のあいさつには早いですが、今年もたいへんお世話になりました。良いお年をお迎えください。

アコードインターナショナル株式会社  
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005  
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752  
e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com